



1年の成果結実 ふれあい文化祭

爽やかな秋晴れに恵まれ、昨年10月26日・27日の2日間「令和元年度弦打地区地域ふれあい交流事業文化祭」(主催・同実行委員会)が開催されました。

催し物は、コミュニティセンターと弦打小学校体育館の2会場で行われました。コミュニティセンター駐車場ではバザーやフリーマーケット、新鮮な産直野菜の販売で、たくさんの人でにぎわっていました。コミュニティセンター内では、保育所・幼稚園児によるハロウインのかわいい作品や小学校児童による絵や工作など力作が展示されていました。また、地域の方々の洋裁や手芸、写真、絵手紙など見ごたえある作品ばかりでした。



多くの人がふれあい文化祭を支えた

小学校体育館では、26日は「つるピーのど自慢大会」が行われ、日頃の練習の成果を披露し、観客は心癒やされる歌声に魅了されていました。また、27日は「学習発表会」が行われました。半田獅子保存会の獅子舞を皮切りに、保育所・幼稚園児の歌や弦打小学校・勝賀中学校の児童・生徒によるコーラス、また同好会の演奏やダンスなどが繰り広げられ、観客からは盛んに拍手が送られていました。多数の来場者で大いに盛り上がりを見せた2日間となりました。

実行委員をはじめ、ボランティアスタッフ、地域の企業・団体、校区皆さまの協力により成功裏に終わりました。

弦打小学校体育館ステージの熱演



パブリカ少女隊



みんせいず



讃修流締太鼓



リルシスター・シスターアンドエス



さわやかダンス

いきいき人生

～輝くシルバー世代～ 第10回



たむら よしお
田村 嘉男さん
(86歳、鶴市町)

秋晴れの日、田村さんはお聞きしている年齢とは思えないほど元気な姿で私たちを迎えてくれました。

田村さんは昭和8年3月8日、弦打村大字鶴市の御殿に生まれました。父親が郷東で鉄工所をしていた関係で、祖父と6歳上の姉との主に3人での生活でした。昭和14年に弦打小学校に入学し、小学校高学年時代には戦争が激しくなりました。昭和20年(終戦の年)に小学校を卒業し、旧制の高松工業学校(高松工芸の前身)機械科に入学しました。昭和20年7月4日未明の高松空襲のときは、御殿では山際に防空壕が掘られており、その防空壕に逃げ込みました。焼夷弾が勝賀山の方に落ちたり、御殿の畑に落ちたりしていました。現在の香川大学教育学部のところにあった工業学校は焼け、当時の西浜新町の高徳線東側にあった紡績工場が仮校舎になったりしました。また、短期間でしたが鬼無の山の上に開墾にも行きました。

「前向きに」
「元気いっぱい」

昭和23年名前が変わった高松工芸高校併設中学校を卒業し、学制改革で新制の高松工芸高校に移り、昭和26年に卒業しました。

卒業後は田んぼがあったので就職せず父の鉄工所を手伝う中、畑もやっていました。昭和32年結婚を機に自動車販売会社に就職し、定年まで営業の仕事をしていました。入社して1年間くらい、営業が専門外だったのでちんぷんかんぷん。でも持ち前の負けず嫌いで克服しました。

スポーツは中学、高校時代はソフトテニス、会社ではソフトボールをやっていました。86歳の今、元気のもとゴルフと野菜作りです。ゴルフにはよく行き、ゴルフ競技会に参加しています。

一方、家庭菜園での野菜作りは苗を買うだけでなく、多種類の野菜の種を買って育てています。4種類の大根をまいたり、キュウリの種を8月になってまいたり試行錯誤する中で、ミニトマトは秋ナスのように、秋になっても家族の消費に十分足るほど結構なっています。ビニールをかけてやっていくと1月くらいまではいけると教えてくれました。

「世の中、自由と個人の主張が強くなり、利己的な思考が広まっている。人間は子どもから年寄りまで互いに助け合うことが大切である。物事は科学的に考えないかん」と元気な物言いの上、「すんだことにくよくよせず、前向きに」が持論で、奥様ともども元気いっぱいの毎日をご過ごしておられます。

(担当：川崎正視、平山秀子、井下久美子、明石佐都子)

「菊池寛がいた高松」講演会

昨年11月10日、弦打コミュニティセンターで菊池寛記念館学芸員久保清子さんの講演会がありました=写真=。要領よくまとめられた資料や映像を駆使しながら菊池寛の生い立ち、交友、文芸作品、高松市内に散在する菊池寛ゆかりの彫像や場所等が興味深く解説されました。



菊池寛は高松が生んだ文豪です。その作品として、「忠直卿行状記」、「無名作家の日記」、「恩讐の彼方に」、「藤十郎の恋」、「父帰る」等が有名です。とくに「父帰る」は高松を舞台にした戯曲で、せりふはすべて高松弁、「浄願寺」や「千金丹」と、お年寄りには懐かしい名前も出てきます。

「菊池寛記念館を訪ねて、『文芸春秋』創刊号の複製を手にした、収録されている全作品に触れ、あるいは菊池寛の生家跡とか『父帰る』像をじっくり眺めてみるのも楽しいだろうなあ」そんな気分させられた講演会でした。

校区自主防災訓練実施



自主防災訓練を前に開かれた全体会(昨年10月21日)

昨年12月1日に弦打小学校において、校区住民による自主防災訓練が実施されました。今回の目的は、弦打校区住民の防災意識の高揚と防災力の向上であり、昨今の地震、豪雨などの異常な自然現象に対する住民の相互協力の再認識を図るものです。

今年度、香川県から発表された新しい洪水浸水想定区域図によると、弦打校区全域が浸水想定区域に含まれており、避難に対する意識の重要性を感じるものです。各種団体、地域住民が一丸となり、想定訓練により成果の上がるのが期待されます。